

令和5年度事業計画に基づく事業報告

令和5年度の我が国の経済は、長引くウクライナ危機、歴史的円安などの影響を受け、あらゆる原材料価格が高騰し、それに伴う物価上昇が私たちの生活を直撃したため、国民生活は疲弊を余儀なくされました。

一方、雇用情勢は急速な少子高齢化が続くことによる人口減少社会において、65歳以上の高齢者人口は、令和5年9月の敬老の日の推計では、総人口比では29.1%（3623万人）と過去最高となっております。不足する労働力を補うため、定年延長や継続雇用制度等も随分と社会に定着してきましたが、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高年齢者の労働能力をいかに有効活用するかが国を挙げての重要課題となっております。

このような状況の下、生涯現役社会をめざし、元気な高年齢者が活躍するシルバー人材センターが果たす役割はますます重要です。しかしながら経済不況に伴う受注の減少、また労働環境の変化による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。こうした状況を克服し、公益社団法人伊賀市シルバー人材センターが、真に地域住民に信頼され、必要とされる団体となるため、会員の増強、組織体制の強化等いろいろな施策を打ってまいりました。

特に、令和5年度は、組織を強化するため、全国シルバー人材センター事業協会が提言しているように、コロナ前の会員人数（令和元年度数値：794名）に戻すことを目標に取り組んできたほか、昨年度に引き続き「シルバーポイント制度」や「フレンドリーショップ制度」についても、取り組みを行い、伊賀市シルバー人材センターを少しでも魅力あるものにしようと、新規会員の獲得や、会員の退会抑制に繋げようと努力をしてきたところです。

このような中、令和5年度の当センターの事業実績は、請負事業から派遣事業に振り替えを行うなどしたため、請負事業が減少し、派遣事業が増加しておりますが、請負事業及び派遣事業を合計した金額は、ほぼ前年度並みの契約実績となっております。受託（請負）事業では、375,596千円の契約額となり対前年度比97.2%、派遣事業では契約額が87,026千円で対前年度比112.6%となり、総契約額は462,622千円、対前年度比99.8%となりました。また就業率は、83.2%で対前年度比5.7%減となっております。

当シルバーの会員数は、725名で入会者が89名に対して退会者が64名で前年度から25名の増加です。会員の平均年齢は75.6歳となっており、89名の入会者のうち60歳代が31名です。また、ハローワークでの就業相談は、30名の方が来られ、そのうち入会説明会を受け会員になられた方は9名です。

具体的な施策につきましては、安全・適正就業の分野では、「安全は全てに優先する」を合言葉に、令和5年度も、令和4年度に引き続き「事故ゼロ」を目指しました。特に、草刈り、剪定の分野では、初任者全員に刈払い機取扱い講習会、チェーンソー取扱い講習会を行ったほか、新たに草刈り・剪定班長会議を定例で毎月開催し、安全対策等の打合せを行っています。また、事故発生件数

が昨年度を上回ってきたため、各班長を招集し、飛び石、安全就労打合せ会を行ったほか、理事長を先頭に、緊急安全パトロールも実施しましたが、事故発生件数は、令和4年度の11件に対し、令和5年度は27件と大幅に増加する結果となりました。このため冬期の閑散期を利用して就業するためには受講が必須ということでKYT（危険予知トレーニング）勉強会を関係会員全員に行ったところです。この草刈り、剪定の分野では、近年は、新規の会員獲得が難しく、平均年齢が上昇してきており、加齢による事故が多くなってきていることも原因にあるのではないかと考えています。

デジタル化への対応の分野では、総務省の補助事業により、デジタル活用講習会を9月から12月に亘って18回開催し、一般市民や会員のICTリテラシー（デジタル技術を理解し活用する能力）の向上に努めました。さらに会員専用サイト「スマイル トゥ スマイル」を開設し、シルバー人材センターと会員のコミュニケーションを強化し、業務の効率化・事業拡大を目指しました。

女性会員活動推進の分野では、一般市民の参加募集を行い「寄せ植え教室（春・秋・お正月）」「レカンフラワー教室」「ポーセラーツ教室」を開催し、女性会員の獲得や一般市民へのシルバー人材センターのPRを行いました。8月には、コロナ禍で中断していた「市民夏のにぎわいフェスタ2023」が4年ぶりに開催され、伊賀市シルバー人材センターのPRや「憩のやかた」の手芸作品販売のため出店しております。また、3月には、愛知県蒲郡市シルバー人材センターの女性部会の先進地視察にも行き、今後の活動の参考のために見聞を広めてきたほか、同じく3月に三つの放課後児童クラブ合同で、児童達に地震体験車による地震の体験や防災についての学習の機会を提供しています。

財務対策ですが、インボイス制度（適格請求書等保存方式）が令和5年度10月から導入され、消費税の新たな税負担が発生するため、財務体質を強化することに取り組み、事務費率を毎年1%ずつ引き上げさせて頂くことを各方面にお願いし、理解を得たところです。

いずれにせよ、高齢化社会にあって今日までの実績は、会員及び関係機関並びに各事業所をはじめ、地域の方々の深いご理解・ご支援によるものであり厚くお礼を申し上げます。

以下、本年度事業として推進しました主要事項について報告いたします。

◎基本方針

- ① 組織運営体制の充実と会員連携の強化
- ② 会員の加入促進と普及啓発活動
- ③ 安全・適正就業の推進
- ④ 就業機会の開拓推進
- ⑤ 技能支援と各種講習の推進
- ⑥ 福祉家事援助サービス事業の推進
- ⑦ 地域高齢者サポート事業の推進
- ⑧ 奉仕活動（ボランティア）の推進
- ⑨ 健康福祉活動の推進

- ⑩ 独自事業の推進
- ⑪ 特定公益増進法人制度の推進
- ⑫ 理事会の開催
- ⑬ 役職員の視察研修
- ⑭ 財務対策強化への対応
- ⑮ K Y T（危険予知トレーニング）への対応
- ⑯ 総務省デジタル支援補助事業への対応

1. 組織運営体制の充実と会員連携の強化

会員自らが主体となり各地区、各事業面での積極的な就業開拓が図られるようリーダー養成と会員連携の推進に努める。

① 専門部会の充実と各委員会活動の活動強化

・総務組織部会（6回）開催

4/19・・・令和4年度事業報告（案）及び収支計算書（案）、令和5年度定時総会全般、表彰審査、事務局体制等

7/19・・・令和5年度事業計画所掌事項、デジタル活用支援推進事業、市長、議長要望、女性の会の位置付け、定年の延長、インボイス制度への対応等

10/11・・・職員就業規則の一部改正、職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定、育児・介護休業に関する規程の制定、職員の給与支給規程の一部改正、役職員人権研修、フリーランス法対応補助金等

12/8・・・上半期監査結果報告、中期基計画の見直し、同一労働、同一賃金の観点を踏まえた対応等

2/16・・・事務局職員体制、令和6年度事務費率、設立20周年記念事業企画委員会、令和6年度定時総会等

3/15・・・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、環境パトロール及び公園巡視に従事する会員に対する規定等

・事業・普及部会（5回）開催 憩いのやかた運営委員会（1回）開催

7/21・・・令和5年度事業計画所掌事項、事業計画、公園管理のしごと体験（剪定）、憩いのやかた運営委員会等

10/6・・・公園施設のしごと体験（剪定）、令和5年度「三重県シルバーの日」、就業拡大、令和5年度剪定講習会

12/7・・・令和5年度剪定講習会、理事長座談会・研修会等

2/21・・・令和5年度剪定講習会の結果、企業ニーズアンケート調査結果、令和5年度事業計画の状況、令和6年度定時総会等

3/18・・・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画等

- ・安全適正就業推進部会（5回）、就業適正化委員会（5回）、安全委員会（3回）開催

7/10・・・令和5年度事業計画所掌事項、事故発生概要・ヒヤリハット報告、安全就業実施計画、安全・適正就業強化月間の取組、安全標語の募集等

10/13・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、安全適正就業パトロール結果、安全講習会、車両運転業務における安全管理等

12/5・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、安全講習会の結果等

2/13・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、自動車運転業務に従事する会員の交通安全等

3/19・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画等

- ・福祉・家事援助サービス部会（5回）、福祉・家事援助推進委員会（1回）開催

7/26・・・令和5年度事業計画所掌事項、ボランティア事業、令和5年度シルバー福祉・家事援助サービス月間、女性の会の位置付け等

10/12・・・寄植教室（秋、お正月、春）、レカンフラワー教室、ポーセラーツ教室、子ども食堂、福祉・家事援助サービス月間、夏のにぎわいフェスタ等

12/5・・・3放課後児童クラブ合同イベント「地震体験車」、お正月寄植教室、レカンフラワー教室、ポーセラーツ教室、春の寄植教室等

2/21・・・お正月寄植教室の結果、レカンフラワー教室の結果、三児童クラブ合同イベント「地震体験車」、「女性の会」蒲郡市SCの先進地視察、令和6年度定時総会等

3/13・・・春の寄せ植え教室結果、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画等

② 班組織（地域班、職群班）の充実と班機能の確立 （地域班長会議）

- ・59班（8/31、1/31）

（職群班長会議）

- ・草刈班長会議及び剪定班長会議（毎月1回）開催

安全就業に係る実施計画書、パッカー車の運用、刈払機取扱者講習会、チェーンソー取扱講習会等

2. 会員の加入促進と普及啓発活動

センター事業の進展のため、入会促進と普及啓発活動を実施。

- ① 入会への定期説明会開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたDVD上映を再開した。）

- ・年間22回開催 114名参加（昨年より20名増）
- 3月末・・・会員数 725名（昨年より25名増）
- 入会者計 89名（昨年より18名増）
- 退会者計 64名（昨年より47名減）
- ・入会者のうち会員紹介による入会 27名

・会員の推移

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
813名	794名	771名	740名	700名	725名

- ② 会報「シルバー伊賀」年2回発行（8月、1月）
- ・広報編集委員会・・・7回開催（7/10, 7/27, 8/10, 11/27, 11/27, 12/21, 1/11）
- ③ 伊賀市長・市議会議長要望
（8/18 市長及び市議会議長）
- ④ 市広報による入会説明会及び就業相談会の開催日周知
- ⑤ 会員による普及啓発パンフの配布（中止）
- ⑥ 全シ協、三シ連との連携協調による広報パンフ、リーフレットの配布（中止）
- ⑦ 地域での普及啓発活動
- ・イベントへの参加：市民夏のにぎわいフェスタ 2023
- ⑧ デジタル活用講習会（9月～12月：18回開催、延べ108名）
- ⑨ 女性の会主催 寄せ植え教室「秋の花を楽しもう」開催
9/20 23名参加（会員外11名、会員12名）
- ⑩ 女性の会主催 「お正月用寄せ植え教室」開催
12/12 31名参加（会員外20名、会員11名）
- ⑪ 女性の会主催 「レカンフラワー教室」開催
1/29 20名参加（会員外12名、会員8名）
- ⑫ 女性の会主催 「ポーセラーツ教室」
2/27 20名参加（会員外12名、会員8名）
- ⑬ 女性の会主催 「春の寄せ植え教室」開催
3/1 25名参加（会員外15名、会員10名）
- ⑭ 剪定講習会を三重県立伊賀白鳳高校で実施
2/17 31名参加（会員外22名、会員9名）
- ⑮ 地域班長による会員募集中パンフレットの配布（会報配布時）
- ⑯ ケーブルテレビによるイベント取材と放送による啓発
- ⑰ ハローワークでの就業相談

3. 安全・適正就業の推進

シルバー事業で何よりも優先する安全対策に向けた取り組みを進めるとともに、

受託と派遣の事業点検を行い適正就業に取り組みました。

- ① 安全就業現場パトロール実施（8回）草刈・剪定・公園清掃・農業法人等
7/19. 7/26. 8/2. 8/9. 8/23. 8/30. 9/6. 9/13

- ② 事故発生件数 27 件（物損事故 18 件・傷害事故 9 件）

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
18 件	20 件	18 件	17 件	11 件	27 件

- ③ 安全標語の募集（48 点応募）

最優秀作品「作業前 ^{ぐるり} 周囲見渡す 余裕もて」

- ④ 適正就業関係

- ・ 安全就業推進大会（三シ連）・津市（7/13）
- ・ 安全・適正就業パトロール（三シ連）・・・名張市（9/13）、伊賀市（9/14）

- ⑤ 安全講習会

12/2 大山田どんぐりホール 65 名参加

安全標語表彰、安全就業講話、講演：「働く高齢者のための安全健康管理」

- ⑥ KYT（危険予知トレーニング）への対応

- ・ 草刈班、剪定班の全員及び職員

4. 就業機会の開拓推進

会員に適した就業の場を提供するため、会員のご協力を得ながら就業機会の確保及び新規開拓に努めました。

- ① 就業実績（R6. 3. 31 現在）

総受託件数・・・5,198 件

[公共 1,045 件、民間 1,738 件、一般・家庭 2,415 件]

対前年度・・・79 件減

[公共 24 減、民間 96 減、一般・家庭 41 増]

総契約額・・・375,596 千円（対前年度比 97.2%）

総就業延日人員 66,104 人（対前年度 5,169 人減）

実就労人員 603 名（対前年度 19 名減）

就業率＝就業人員 603／会員数 725・・・83.2%（対前年度比 5.7%減）

男性就業率 79.2%（就業実人員 384/会員数 485）

女性就業率 91.3%（就業実人員 219/会員数 240）

伊賀市事務所派遣事業総収入・・・87,026 千円（対前年度比 112.6%）

総事業費（派遣事業含む）・・・462,622 千円（前年度 463,553 千円）

対前年度比 99.8%

- ② 事業所訪問・・・中止

- ③ 空き家維持管理サービス事業者としての空き家管理・・・延 130 件
 - 墓地掃除花立・・・延 99 件
 - ふるさと納税返礼品としての空き家管理・・・・・・ 0 件
 - 墓地清掃花立・・・・・・延 6 件

受注件数・就業延人員・契約金額の推移 (単位：件、人、円)

	受託 件数	就業延 日人員	契約金額	派遣契約	総契約額
平成 30 年度	5,752	75,797	377,575,742	107,622,364	485,198,106
令和元年度	5,537	74,081	377,772,813	99,927,605	477,700,418
令和 2 年度	5,272	69,542	361,158,558	80,851,672	442,010,230
令和 3 年度	5,210	71,146	378,112,988	70,397,748	448,510,736
令和 4 年度	5,277	71,273	386,270,597	77,282,317	463,552,914
令和 5 年度	5,198	66,104	375,596,445	87,026,015	462,622,460

5. 技能支援と各種講習の推進

高齢者の就業に必要な知識や技能習得のため事業としての技能講習会を開催する。

① 高齢者活躍人材確保育成事業

公園施設のおしごと体験（剪定）(10/13) 8名参加 しらさぎ運動公園

6. 福祉家事援助サービス事業の推進

高齢化社会の進展で高齢者世帯が増加の中、福祉家事援助等の生活支援や社会参加型活動を行いました。

① 地域イベントへの参加

市民夏のにぎわいフェスタ 2023・・・14名参加

7. 地域高齢者サポート事業の推進

それぞれの地域の高齢者が日常生活で困っておられる短時間でできる簡易なことをその地域の元気なシルバー会員が安価で支援（受注）する地域高齢者サポート事業（生活支援）について、進めました。

地域高齢者サポート事業（生活支援）

（支援実施）西高倉きずな会・阿山サポート会・小田サポート会

8. 奉仕活動（ボランティア）の推進

会員間の連携を深め、シルバー事業のモットーである「すすめよう」「さしのべよう」「まもろう」「つたえよう」を就業だけでなく、地域での奉仕活動においても実施いたしました。

夏のにぎわいフェスタ販売ボランティア活動・・・14人
近鉄大阪線青山駅前広場草刈り、落葉清掃、植木剪定作業 8人
3放課後児童クラブ合同 地震体験車 3/27 88人

9. 健康福祉活動の推進

会報37号健康診断受診推進を掲載等、会員が健康管理に留意いただくため、周知しました。

10. 独自事業の推進

高齢化社会が一層進展する中、シルバー会員が受託事業だけでなく自らの事業化に向けた体制整備に努めた。

憩のやかた事業（手芸品販売）・・・延べ33人

憩のやかた事業（野菜販売）・・・延べ72人

11. 特定公益増進法人制度の推進

各事業所等にシルバー人材センター事業や特定公益増進法人制度の理解を深めるとともに、寄付行為についても周知を図り、14事業所から145,000円の協力を得て当センター業務の充実に努めました。

12. 理事会の開催

主要協議案件、その他事項について、8回の理事会を開催：所掌事項等下記の取組み事項と諸事業を推進

4/19・・・理事・監事選考委員会

5/10・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報（第1回）告、各部会取組状況の報告、理事の交代に伴う役員の選任、令和4年度事業報告、令和4年度収支決算及び決算監査結果報告、令和4年度収支補正予算、令和5年度事業計画及び収支予算、定時総会被表彰者、定時総会の開催要領

5/27・・・理事長、副理事長、常務理事の選出（第2回）顧問の選任

6/26・・・役員の紹介、事務局職員体制、活動状況、新入会員、事業実績報告（第3回）事故発生概要・ヒヤリハット報告、専門部会委員選出及び所掌事項、各ブロック会議、地域班及び職域班の状況等、三シ連安全就業推進大会、市民夏のにぎわいフェスタ2023等

8/4・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報（第4回）告、各部会取組状況の報告、デジタル活用支援事業、全シ協特別指導、市民夏のにぎわいフェスタ2023、最低賃金の改定、令和5年度人事院勧告、女性の会の位置付け及び名称等

10/20・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報（第5回）告、各部会取組状況の報告、安全適正就業パトロールの結果、安全標語募集結果、子ども食堂、上野公園駐車場、職員就業規則の一部改正、

職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定、育児・介護休業等に関する規程の制定、令和5年度人事院勧告、役職員人権研修、剪定講習会、安全講習会、車両の運転業務における安全管理、福祉・家事援助サービス月間等

- 12/14・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット（第6回）告、各部会取組状況の報告、上半期監査の結果、中期基本計画の見直し、安全講習会の結果、理事長座談会・研修会の内容等
- 2/29・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報（第7回）告、各部会取組状況の報告、事務局職員体制、令和6年度事務費率、企業ニーズアンケート調査結果、剪定講習会結果、女性の会先進地視察、設立20周年記念事業企画委員会、自動車運転業務に就業する会員の交通安全等について、三児童クラブ合同イベント「地震体験車」、役員賠償責任保険団体制度への加入、令和6年度定時総会等
- 3/22・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報（第8回）告、各部会取組状況の報告、「女性の会」蒲郡SC先進地視察報告、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、令和6年度収支予算、令和5年度収支補正予算、貸倒損失、業務継続計画（BCP）等

13. 役職員等の視察研修

コロナ禍の影響が残る中、役職員の先進地視察研修は、中止としました。

3/12 女性の会の蒲郡市シルバー人材センターの視察を実施しました。

14. 財務対策強化への対応

- ・事務費率の引上げ